

# 商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

## 三種町商工会

企業名：BAR BER SHOP KATO  
 代表者名：加藤 秀悦  
 所在地：〒018-2303  
 三種町森岳字高田66-1  
 連絡先：TEL 090-4041-7328  
 E-mail：ysys124@docomo.ne.jp

**新会員から一言**：10年間理容店に勤務した後、平成24年7月に夢だった独立を果たしました。顧客の要望に対応するため、技術では負けておりません。今後も、ワンランク上のサービスを提供していきます。



## にかほ市商工会

企業名：フェイスカンパニー E-mail：faith-company@iaa.itkeeper.ne.jp  
 代表者名：長谷部 陽  
 所在地：〒018-0411  
 にかほ市院内字タモキタ3-1  
 連絡先：TEL 0184-74-3938  
 携帯：090-2274-1406

**新会員から一言**：平成25年10月に創業し、黒にんにく『黒い果実』を販売しています。起業時から商工会の指導を頂き、補助金も活用しています。10月に開催された「おもてなしまつり」への出店の他、台湾への市場拡大も目指して奮闘中です。



## 羽後町商工会

企業名：農事組合法人こまち野  
 代表者名：佐藤 金太郎  
 所在地：〒012-1100  
 雄勝郡羽後町字南野44番地  
 連絡先：TEL・FAX 0183-62-5415

**新会員から一言**：甘くて美味しいイチゴを栽培してます！また、3月から6月にかけて大好評イチゴ狩りイベントも開催！もぎたて新鮮イチゴの他にもこまち野特製「生イチゴソフト」は大人気！『羽後こまち野』で検索お願いします！



## あられ、せんべいなど米菓の輸出動向

秋田県商工会連合会 嘱託専門指導員 吉田健一氏 寄稿

食べだすとついつい手と口が止まらなくなる「あられ」や「せんべい」。気が付いたら一袋完食ということも何度か経験があります。

ところで、米菓はもち米を原料としてつくられる「あられ」・「おかき」とうるち米を原料としてつくられる「せんべい」に大別されるとのこと。また、「あられ」と「せんべい」の製造工程の違いは、「あられ」はもち米をついた後に冷却し成型しますが、「せんべい」はうるち米をついた後すぐ成型するようです。

今回は、この米菓の輸出動向について、財務省貿易統計から調べてみました。

過去10年間の全国の輸出金額の推移をみると、2004年から2008年までは順調な増加傾向で推移していましたが、2009年に落ち込み、2011年以降は再び増加の傾向を示しています。(グラフ1参照)

全国の輸出相手国をみると、2013年の実績で、米菓は世界38カ国に輸出されており、輸出金額ベースで1位は台湾(1017百万円)、2位は香港(752百万円)、3位はアメリカ合衆国(638百万円)となっています。この3カ国のシェアは全体の約69%を占めています。(グラフ2参照)

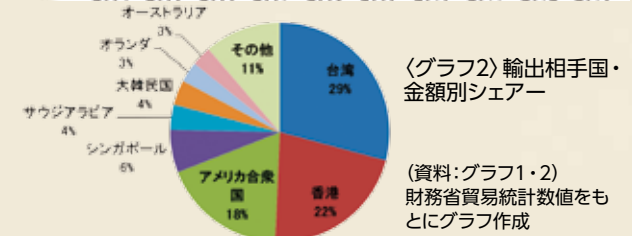
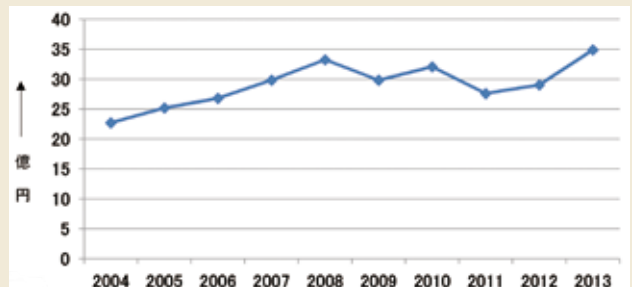
同様に、5年前(2009年)の状況を見ると、1位は台湾(804百万円)、2位はアメリカ合衆国(785百万円)、3位は香港(246百万円)で、順位は異なるものの3カ国のシェアは約62%と、確固としたポジションを獲得していることがわかります。

米菓輸出を税関(港)別輸出金額実績(2013年)でみると、1位は名古屋(920百万円)、2位は神戸(905百万円)、3位は東京(457百万円)となっています。東北管内の状況は、酒田(47百万円)、秋

田船川(22百万円)の輸出実績でした。また、米菓の大手メーカーが立地する新潟税関からの輸出は(61百万円)でした。

今後も日本食文化の広がりとともに、日本の良質な原料と伝統の生産技術に裏打ちされた米菓商品はもちろん、外国人の嗜好、ニーズを考慮した「せんべい」商品の開発など、更なる輸出の拡大に期待します。

〈グラフ1〉全国の米菓輸出金額の推移



〈グラフ2〉輸出相手国・金額別シェア

(資料：グラフ1・2)  
 財務省貿易統計数値をもとにグラフ作成